



新指定

# 小峰城跡

所在地 郭内  
指定面積 124,114.84㎡

▶写真⑤／三重櫓と前御門  
《小峰城跡》  
小峰城跡は、南北朝時代の興国・正平年間(1340～69)に、結城親朝により築城されたのが始まりとされます。  
江戸時代の寛永4年(1627)、丹羽長重が棚倉より10万石で入封し、白河藩が成立します。長重は、幕命により寛永6年(1629)より城郭の改修に着手し、約4年の歳月をかけ石垣を多用した梯郭式平山城を完成させました。  
丹羽氏以後、松平(榊原)・本多・松平(奥平)・松平(結城)・松平(久松)・阿部といった徳川親藩・譜代の7家21代の居城として存在しましたが、慶応4年(1868)の戊辰戦争白河口の戦いにより焼失・落城しました。

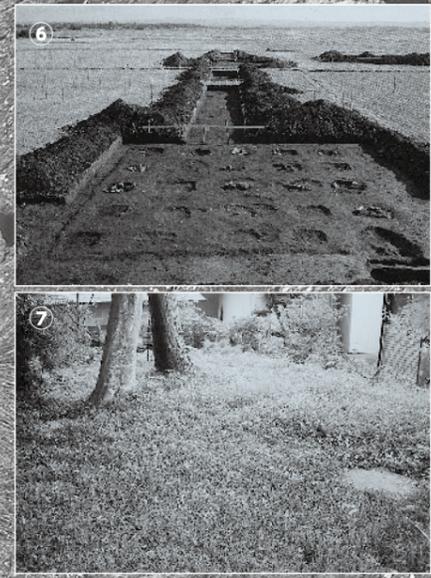
追加指定  
及び  
名称変更

# 白河官衙遺跡群

所在地 借宿株木、泉崎村関和久  
指定面積 既指定面積  
(関和久官衙遺跡：227,725.00㎡)  
追加指定面積 7,387.55㎡  
(借宿廃寺跡) 計235,112.55㎡

▶写真⑥／倉庫跡  
《関和久官衙遺跡》  
西白河郡泉崎村関和久に位置します。7世紀末頃から10世紀後半頃まで存在したと考えられる、古代白河郡の役所跡。倉庫跡や門跡、掘立柱建物跡が多く発見されています。確認された倉庫跡は、「まほろん(県文化財センター)」で復元展示されています。

▶写真⑦／金堂跡基壇  
《借宿廃寺跡》  
借宿株木に位置します。法隆寺式伽藍配置を有する寺院で、7世紀末頃の創建と考えられます。複弁六葉蓮華文軒丸瓦、重弧文軒平瓦をはじめとして、埴仏・瓦塔などが出土しています。



# 国史跡指定決定!!

5月21日に、国の文化審議会より国史跡指定の答申を得ていた3遺跡が、8月5日に官報で告示され、正式に国指定史跡となりました。今後は、国史跡として適切に保存を図るとともに、本市の「歴史・文化」を生かしたまちづくりの核として、活用を図っていきます。  
今月号では、小峰城跡、白河官衙遺跡群(借宿廃寺跡を追加指定)、白河舟田・本沼遺跡群(野地久保古墳を追加指定)をご紹介します。

追加指定

# 白河舟田・本沼遺跡群

所在地 舟田中道、本沼岩井戸、本沼野地久保  
指定面積 既指定面積 30,812.65㎡ 追加指定面積 1,461.39㎡(野地久保古墳)  
計 32,274.04㎡

▶写真①／全景  
《下総塚古墳》  
舟田中道に位置します。6世紀後半頃の前方後円墳で、墳長71.8mを測ります。6世紀の古墳としては、東北地方で最大規模を誇ります。  
埋葬施設は横穴式石室で、被葬者は、文献にみられる「白河国造」の可能性が考えられます。

▶写真②／全景  
《舟田中道遺跡》  
舟田中道に位置します。6世紀後半から7世紀前半に位置づけられる豪族居館跡が確認されました。居館跡は、一辺が70mほどの溝で区画されており、内側には、柵列跡や竪穴住居跡が存在しています。下総塚古墳被葬者の次代を担った「白河国造」の本拠と考えられます。

▶写真③／全景  
《谷地久保古墳》  
本沼岩井戸に位置します。南に面した緩やかな斜面上に構築された、直径17mの円墳です。近畿地方の終末期古墳と共通した構造の横口式石槨を埋葬施設としています。7世紀後半から8世紀初頭に構築された、白河郡の盟主層(郡司など)の墓と考えられます。



▶写真④全景  
《野地久保古墳》  
本沼野地久保に位置します。東北地方唯一、全国5例目の発見となる上円下方墳です。上円部径10m、下方部は一辺16mの規模で、埋葬施設は横口式石槨と考えられます。7世紀後半から8世紀初頭に構築された、白河郡の盟主層(郡司など)の墓と考えられます。

## □国指定記念講演会

今回の国史跡指定を記念し、記念講演会を開催します。  
●日時 10月3日(日)／午後1時15分開演  
●会場 文化センター(中田)  
●講師 県考古学会顧問 鈴木 啓氏

## □テーマ展「白河の国指定史跡」

今回、国指定史跡となった3遺跡をはじめ、市内に存在する国指定史跡を紹介します。  
●期間 9月8日(水)～10月24日(日)  
●会場 歴史民俗資料館(中田)

◎問い合わせ先 本庁舎文化財課 ☎2310